

この度は、IKK 製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

当社製品を安全に正しくご使用いただく為に御使用前に当説明書をお読み頂きますようお願いいたします。なお御不明な点がございましたら、お買い上げ店にお問い合わせください。

使用ガスについてのご注意

○必ず機器に表示しているガスを使用すること。

○ガスホースはホースエンドの大きさ確認の上、適合ホースを赤線の所まで差込みゴム管止めをご使用ください。

OLP ガスをご使用の際は必ず低圧ガバナーをお使いください。「中、高圧ガバナーをご使用されますとガス漏れ等の危険が生じます。必ずお守りください。

点火方法と消火確認

○マッチ点火 点火はできるだけ点火棒をご使用ください。バーナーに点火棒の炎を近づけてから、ガスコックを開いて点火してください。

○圧電式点火 圧電式はツマミコックを一度回すごとに放電は一度です。点火ツマミをできるだけゆっくり回してください。(点火ガスを充分出ている状態にして放電すること)

○連続放電着火式 お好み焼き用バーナー等当社の実用新案点火式の場合は、点火ツマミを回している間放電しますので、確実安全に点火できます。

「注意」 上記の方法で2-3度着火動作を行っても火の付かない場合、ガス機器内にガスが充満して爆発の恐れがありますので、続けて着火せず換気の上再度着火動作をしてください。

火を付けたまま放置しないこと。

調理中にガスホースの踏みつけ、風等による火の立ち消えを注意すること。

ガスが完全燃焼しているときは内火が淡い青色をしています。炎が赤くなったり炎が飛ぶ場合は空気調整器を左右に回し、炎の状態を安定させてください。

「危険」 ガス漏れに気づいたとき、次の①～③の処置が終わるまで絶対に火を付けたり、電気器具のスイッチのオンオフを行わないようにしてください。炎や火花で引火爆発事故の危険があります。

- ① すぐに使用を止め、機器のコックとガスの元栓を閉じる。
- ② 窓や戸を開けガスを外に出す。
- ③ お買い上げ販売店またはガス事業者に連絡してください。

日常の点検・お手入れは必ず行ってください。

点検手入れは機器を長く安全にお使いいただく上で大切なことです。点検の上故障・破損と思われるものは使用しないでください。至急販売店または事業者にご相談ください。

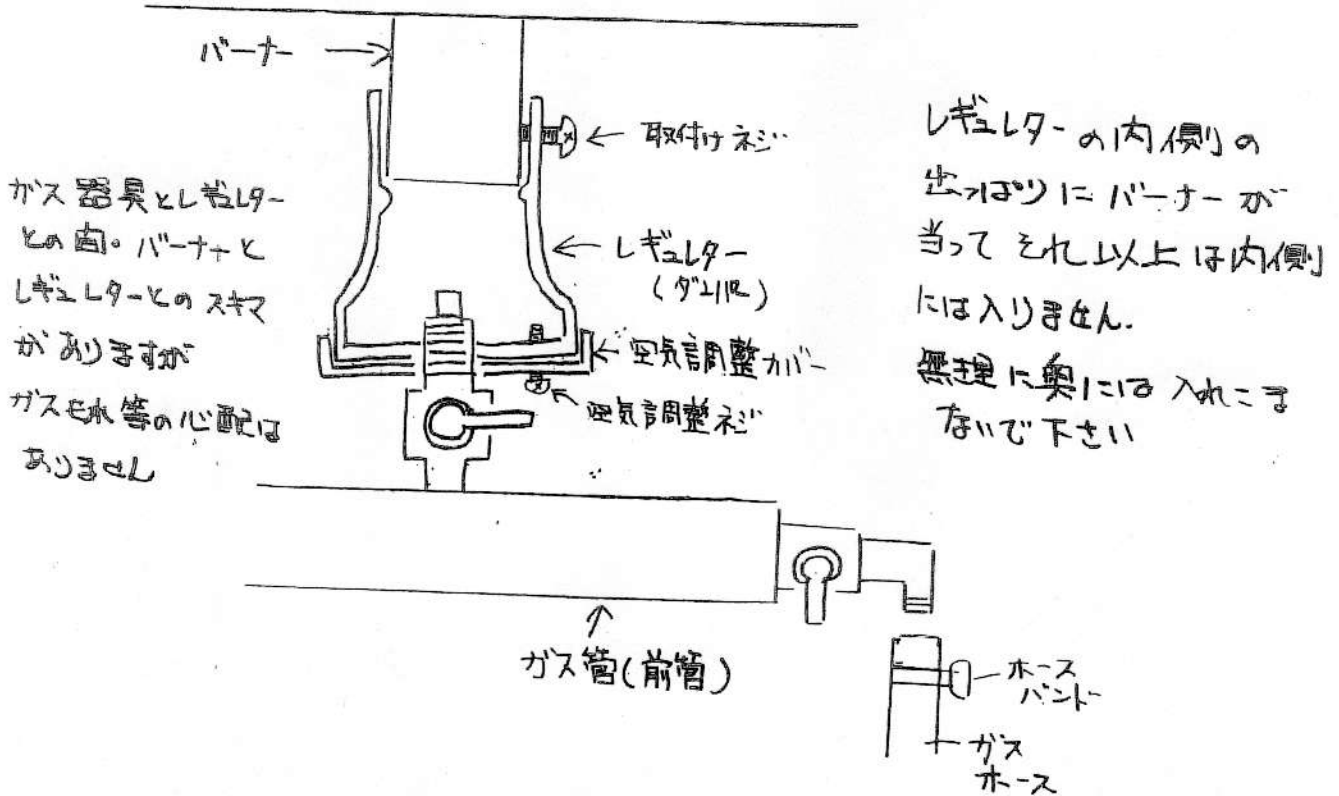
部品の分解はなさないようにしてください。

ゴム管は長い間使用しますとひび割れたり差込口がゆるくなります。早めに取り替えてください。バーナーの炎がサビなどにより不揃いになることがあります。炎口が小さくなっていますのでキリか針金などで掃除してください。

調理使用後は必ずコック・元栓を閉じてください。

ガス管(前管)の取付け方法

ガス器具本体



ガス器具としゃレターとの間、バーナーとしゃレターとのスキマがあります。ガスモホ等の心配はありまほし。

レギュレーターの内側の出ホースにバーナーが当ってそれ以上は内側には入りまほん。無理に奥には入れまほないで下せし。

空気調整について

空気調整が悪いと、不完全燃焼や立ち消えの原因にもなりまほす。出荷時には適正な状態にしゃレターを調整してありますが、必要に応じてレギュレーターの空気調整ネジをゆるめ、空気調整カバーを回し、火の状態を適正にまほ様に下せし。



(A) 適正

(B) 空気調整カバーを回し、空気取り入れ口を広げて下せし。

(C) 空気調整カバーを回し、空気取り入れ口を狭めて下せし。